

6 月度業務報告

(一社) 中国地域ニュービジネス協議会
山内

(I) 6 月度 主要イベント

- 6 月 4 日(火)、理事会、総会、中国地域ニュービジネス(NB)大賞表彰式、懇親会開催
- 6 月 10 日(月)、中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)4 者連携定例会議開催
- 6 月 11 日(火)、(公社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)全国会長会議出席
- 6 月 19 日(水)、島根支部役員会開催

(II) トピックス

(1) 理事会、総会、中国地域ニュービジネス(NB)大賞表彰式、懇親会開催

中国 NBC 31 年の歴史で初めて広島市外で総会を開催した。岩国市開催で出席者数がどうなるか心配したが、結果は、総会 150 名、NB 大賞表彰式 190 名、交流会 150 名と、ほぼ想定通りの集客となった。う飼い遊覧 50 名参加は想定の倍近く集まった。山口支部(一部島根支部)の理事の方々には、山口らしさの演出に知恵を絞って頂き、受付要員を出して頂き、道案内に立って頂き、余興の賞品を提供して頂き、大変お世話になった。山口支部の理事の皆様のご支援、ご協力に深く感謝しております。

理事会は、理事総数 41 名のうち 27 名の出席があり定足数を満たした。細川会長、中国経済産業局中山部長のご挨拶の後に、事務局より議案を説明し、承認、確認頂いた。議案は 4 つでいずれも午後からの総会の事前確認の位置づけである。すでに、3 月上旬より各支部で議案内容について理事の皆様にはご検討頂いており、スムーズに議事が運んだ。

総会は、細川会長、来賓の中山部長(花木中国経済産業局長の代理出席)それに JNB の剣持副会長(池田 JNB 会長の代理出席)にご挨拶を頂いた後に議事を開始した。議案は以下の通り。いずれも承認、確認された。

- 一号議案 平成 30 年度事業報告
- 二号議案 平成 30 年度収支決算の承認ならびに監査報告
- 三号議案 2019 年度事業計画および収支予算
- 四号議案 理事変更

これまで総会では、事務局としては事業報告に力を入れていたが(活動状況を皆さんにご理解いただくため)、近年理事の皆様への月報を提出しているので、事業報告時間は削り、参加者が一番楽しみにされている NB 大賞受賞者のプレゼンテーションに時間を回すようにした。

NB 大賞表彰式では、9 社が表彰された。大賞(1 社);野村乳業(株)、優秀賞(3 社);(株)田部、(有)吉原木工所、(株)WORK SMILE LABO、特別賞(5 社);(株)内海機械、(株)エナジーフロント、(株)システムフレンド、日進ゴム(株)、(有)ファインアートかわばた。日進ゴムさんは元々会員であり、残り 8 社のうち、4 社にはすでに入会頂いた。また、受賞者の商品を採用される会員さんが

現れたりして、『良質の刺激とご縁を提供する』事務局としては嬉しい限りである。

【理事会】



【2019 年度定時総会】



【中国地域 NB 大賞】



山口支部理事の皆様のご提案で、懇親会や懇親会前後に、山口らしさの演出を入れた。岩国藩鉄砲隊の演武(雨天につき室内で型のみ実施)、岩国ではハレの日に欠かせない岩国寿司の調理実演、そして藤麻副会長(柳井市)、井上理事(萩市)のご厚意で商品を提供頂き、懇親会のじゃんけん大会で出席者に勝ち取って頂いた。大成功の一日でしたとお褒めの声をたくさん頂いた。事務局員 9 名の内、総会初経験者が 4 名で当日の運営に不安もあったが、事務局長が事務局員に上手に役割分担したので、各自が責任を持ってそれぞれの役割を全うし、良い結果になったものと思います。

【岩国藩鉄砲隊演武】



【岩国寿司調理実演】



【懇親会じゃんけん大会】



(2) 島根支部役員会開催

石碕支部長、今井副支部長他、総勢 7 名の支部役員と 3 名の事務局員で島根支部役員会を開催した。支部催事の企画、支部役員の交代、会員の入退会状況などについて話し合った。

今後、島根支部催事は年一回とし、開催地域を年度ごとに東部と西部で交代することを決定した。2019 年度は東部地域開催とし、NB 大賞優秀賞受賞者である(株)田部の田部社長に講演して頂く(ご本人了解済み)。時期は 9 月から 10 月ごろで詰めていく。

支部役員については、セコム山陰の佐藤社長が交代されたので後任の支部役員をどなたにお願いするか検討した。幾人かの候補が出たが、最終的に、2019 年度の NB 大賞優秀賞受賞者である、(有)吉原木工所の吉原専務にお願いすることとし、ご本人の了解も頂けた。

島根支部の会員の入退会状況は、2018 年度は入会 2 先で退会 3 先のマイナス1。会員数合計 49 先と他支部と比べて減少が少ない。石碕支部長の強力なリーダーシップが退会防止に効果を上げているが、事務局としては入会が増えるように魅力的な活動を展開していきたい。

(3) (公社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)全国会長会議出席

JNB の定時総会ならびに全国会長会議が開催され、細川会長が出席されるのでお供させて頂いた。

定時総会では、2018 年度事業報告(報告事項)と計算書類等承認の件(決議事項)が議案で、それぞれ、了解、承認された。

続いて、経産省から「スタートアップ支援政策について」説明がされ、さらに JNB から政府・国会議員への政策提言「地方創生に資する少子化問題及び高齢化問題解消策について」に関して報告があった。細川会長より、JNB が政策提言をするのであれば、ぜひ、地方の声を織り込んで頂こうと指示を受けたので、JNB や中国 NBC の各支部に働きかけて中国地域の提言を JNB 提言に織り込むように具体化する。荒木 JNB 専務理事に中国 NBC の考えを伝えた。

同時開催された、東京 NBC のアワード表彰式にも参加したが、IPO 大賞(13 回目)など、ややレベルの違いを感じた。IPO すればよいというものではないだろうが、IPO しようという企業をたくさん輩出できるのは、人口の多い東京のメリットであろう。また、それであるがゆえに、東京在住の人達に、正確な地方の実情を伝える必要があると感じた。

【JNB 定時総会】



【東京 NBC アワード表彰式】



【青山学院 原監督講演会】



(4) その他

① 中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)4 者連携定例会議開催

中国経済産業局(経産局)、中国経済連合会(中経連)、日本政策投資銀行(DBJ)、それに中国 NBC の SOERU 開催 4 者で、定例連携会議を開催した。

経産局、中経連、DBJ それぞれに SOERU 受賞者の支援を継続実施されており、中国 NBC の単独活動では実現できないメリットが活かされている。また、マスコミへの露出促進や応募者の発掘なども、3 者の力は大きい。二年前の初年度は 4 者の思いを調整するのに苦労したが、最近是如何にこの SOERU をより良くするかに皆さんの意識が集中しており、定例会議もスムーズに運ぶようになった。

募集要項、応募用紙書式、審査シート内容、チラシ・ポスターの作成要領、発表会当日のタイムスケジュールなどについて詳細を決定した。今年は予算が減ったため、全体的に事業負担の軽減を図っており、ワークライフシナジー賞の審査も一つの審査委員会にて実施する事とした。

② 新戦力加入ならびに赴任のご挨拶回り

山口 FG さんから派遣されていた萬城浩太郎さんの後任として、黒田祐介さんが総会の日(6 月 4 日)から着任された。着任前にはもみじ銀行小倉支店で勤務されていた。当日は、小倉を早朝に出発、会場の岩国国際観光ホテルには午前 9 時前に到着し、会場設置準備、来客の誘導、理事、会員企業への挨拶など積極的に動かれた。単身赴任で可愛い我が子と離れながらも愚痴一つ言わず前向きに精力的に活動されており、新戦力として大いに期待している。黒田さんが活動しやすいように、山口 FG さん(山口銀行、もみじ銀行共に)との連携をもっと強化してまいります。

【黒田祐介次長、藤麻会長と共に】



③ 他団体の催事参加

広島経済活性化倶楽部(KKC、会員の山下江弁護士が主宰)の「起業家・投資家・専門家お見合い交流会」で、バルコムの山坂社長(会員)が基調講演されると聞いた。山坂社長にはしばらくお会いしていないので顔つなぎと、SOERU のサポーター協賛金依頼を目的に参加した。(7 月末にサポーター、協賛金共に受けて頂いた。)

山坂社長の講演内容は一言でいうと「平凡を続けると非凡になる」だと感じた。特に斬新なアイデアや奇抜な策を導入されたわけではないが、基本を着実に実行して父上から引き継がれた会社の売り上げをおよそ 30 倍に引き上げておられた。

広島県主催のチャレンジ企業セミナーでは、ミルテルの田原社長が講演されると聞いて参加した。田原社長には以前から会員になって欲しいと注目していたので、良い機会であった(現時点未入会)。他にも数社の企業が発表されたが、今後起業予定のプラチナバイオ株式会社は数年後には NB 大賞に申し込める企業に成長しそうであった。

(5) 6 月度雑感

6 月は NHK 野球解説者の大野豊氏と青山学院大学陸上競技部監督の原晋氏の講演を聞く機会に恵まれた。お二人とも、それぞれの分野で偉業を達成されている人達であるが、話に共通点があり、共に「自分のような平凡な人間でも継続すれば結果が出る」と言っておられた。大野豊氏は私と同じ年齢であるが、背格好もほとんど私と同じであることに驚いた。まさに、普通の人々が努力で成果を出された結果だと改めて感じた次第である。細川会長もテレビ番組で「途中で諦めたら花は開かない」と言われていた。少しずつ、事務局員満足度、会員満足度を上げていき、その先に中国 NBC というブランドを開花させたい。続けます。

以上